

8月2日(火) 中学生体験入学が開かれました。

受け付け開始の8時15分には体育館前に大勢の中学生が集まってくれました。

今年の申込は昨年度に比べ50名ほど多い203名でした。

体育館で全体会、校長先生の話、各係の先生の説明の後、生徒会長、須商マーケット社長からの説明もありました。

1時間目の学校紹介を済ませ、6つのグループに分かれて、簿記、情報処理、総合実践の体験授業を受けました。

簿記の授業はHR教室での講義式授業のため難しく感じた中学生も多かったかもしれません。しかし、商業高校の王道ともいべき授業ですので、その雰囲気だけでも感じとってほしいところです。

情報処理はコンピュータを使った授業ですのですべてパソコン室で行われます。本校には3つのパソコン室があり、そこで教授用モニターも使ったわかりやすい授業が展開されます。

3つ目の総合実践は6スパンという巨大な教室(普通教室3個分)で実際の取引を模擬的に体験します。小切手の作り方など経験したことない内容に挑戦していました。

3つの授業とも本校3年生、2年生がこれまでの経験を生かしたサポートをしてくれました。



学校紹介



体験授業風景



左から簿記 情報処理の授業



総合実践の授業